

基幹共同研究 1
非文字資料研究ネットワーク形成研究

非文字資料研究者情報一覧

- 1 この目録は、図像、身体技法、環境・景観を対象に非文字資料研究を行っている研究者の情報である。
- 2 収録した研究者は主として日本で研究している研究者に限定した。勤務先、住所などが海外にあっても、日本での研究発表を行っている研究者を含む。
- 3 掲載した情報は、ネットワーク形成研究班が、インターネット、著書、論文などの記載記事から収集したものであり、研究者から寄せられたものでない。その点を了解の上利用されたい。
- 4 配列は氏名の五十音順とした。
- 5 この一覧は暫定的なものであり、非文字資料研究者を網羅したものではない。

研究者名／英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
1 相羽秋夫／AIBA Akio	美学／美術史	上方の大衆芸術、特に落語、寄席、漫才を対象にして研究。日本の東西文化における笑いの比較も行う。元松竹芸能勤務であり、実践を通して分析をする。	『現代上方演芸人名鑑』(少年社, 1980)／『暮らしの中の芸能用語』(東方出版, 2004)／『「お笑い」の歴史』『笑い学研究』1 (日本笑い学会, 1994)		大阪芸術大学 芸術学部 芸術計画学科	教授
2 青木美智男／AOKI Michio	日本近世史	民衆闘争史・非領国地域における地域経済の問題などを研究。庶民文化研究分野での業績も多く、草双紙から都市の文化を読み解いている。	『一茶の時代』(校倉書房, 1998)／『藩付集成』(柏書房, 2009)／『深読み 浮世風呂』(小学館, 2004)		専修大学	教授
3 朝岡康二／ASAOKA Koji	民俗学／文化人類学／文化財科学	職人とその文化史、職人の民俗技術、技術伝承についてを研究する。特に鉄器文化とそれを用いた伝統技術とその変容についての成果を重ねた。	『民具研究と民俗学』『日本民俗学』200号(日本民俗学会, 1994)／『古着』(法政大学出版局, 2003)／『野鍛冶』(法政大学出版局, 1998)／『南島における「町」の形成』『国立歴史民俗博物館研究報告』第67集(国立歴史民俗博物館, 1996)／『農鍛冶』(法政大学出版局, 1998)		国立歴史民俗博物館	名誉教授
4 浅野秀剛／ASANO Shugo	日本美術史／浮世絵史	肉筆浮世絵から、浮世絵版画まで総合的に浮世絵を研究。	『北斎決定版』(共著, 平凡社, 2010), 『浮世絵は語る』(講談社, 2010)／『菱川師宣と浮世絵の黎明』(東大出版会, 2010)。		大和文華館	館長
5 安部剛／ABE Goh	言語学／文化人類学／民俗学	異文化間コミュニケーションとユーモアの比較文化論をテーマに、アメリカにおけるエスニックジョークや、笑いに関する白人と黒人間のコミュニケーションスタイルを研究する。	『エスニックジョーク—自己を嗤い他者を笑う』(講談社選書メチエ 268, 2003)／『アメリカ合衆国におけるユーモアの役割(笑い総論(第3回))』『笑い学研究』2(日本笑い学会, 1995)／『エスニックジョークと異文化理解: オーストラリアとアメリカ合衆国のエスニックジョークを事例として』『笑い学研究』8(日本笑い学会, 2001)		元徳島文理大学 文学部 コミュニケーション学科	
6 荒尾美代／ARAO Miyo	食文化	砂糖の生産、ポルトガルの食文化について研究。	『尾張藩における宝暦年間(1751-1763)の白砂糖生産: 史料「糖製秘訣」の原作者をめぐる』『科学史研究 第II期』45(239)(日本科学史学会, 2006)／『田村元雄(1718-1776)の白砂糖生産について: 「覆土法」を中心に』『化学史研究』31(4)(化学史学会, 2004)		昭和女子大学 国際文化研究所	客員研究員
7 安蔵裕子／ANZO Yuko	生活科学／服飾史／服飾造形／装飾意匠	南蛮美術における服飾描写、唐招提寺所蔵国宝「方円彩糸花網」の由来について、原初的な編組技法—ルーピング—の承譜と造形表現についてなどをテーマに研究する。	『神戸市立博物館所蔵「泰西王侯騎馬図」の承譜について: 服飾描写の視点から』『国際服飾学会誌』16(国際服飾学会, 1999)／『神戸本「泰西王侯騎馬図」所収「トルコの王」の服飾描写について』『衣生活』39(6)(衣生活研究会, 1996)		昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科	助教授
8 飯島満／IIJIMA Mitsuru	古典芸能		『文楽の映像資料』『国文学解釈と教材の研究臨時増刊 文楽—一人形浄瑠璃への招待—』(学燈社 2008)	『古典芸能の伝承と変遷—一人形浄瑠璃文楽の場合—』第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会(東京国立博物館平成館大講堂) 08.12.7	東京文化財研究所 無形文化遺産部	研究室長
9 石井隆憲／ISHII Takanori	スポーツ科学／文化人類学／民俗学	中国、韓国、沖縄の相撲の研究、東アジア、東南アジアのスポーツ研究。	『日本における綱引の地域類型』『東洋大学紀要教養課程篇(保健体育)』2(東洋大学, 1992)／『熊野の御船競漕—早船操船の身体技法と民俗的知識の動態—』『体育の科学』48-11(杏林書院, 1998)／『東アジアにおける相撲研究の現状と課題—研究史の検討を中心に—』『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所 研究年報』28(東洋大学, 1994)		東洋大学 ライフデザイン学部 健康スポーツ学科	教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
10	石川寛夫/ ISHIKAWA Hiroo	文化財科学/ 美学/美術史	長州藩の写真史, 19世紀の 写真術, 幕末・明治初年にお ける初期日本写真資料の調査 及び復元再生に関する研究, 主として我が国における初期 写真史の研究 及び写真の保 存・修復の研究	石川寛夫・小川健志他著『写真で見る幕末・ 明治』(世界文化 1990) / 『長州藩に於ける 写真事歴: 第1報』(九州産業大学芸術学部 研究報告) 5 (九州産業大学 1974)		九州産業大学 芸術学部 写真 映像学科	教授
11	石毛直道/ ISHIGE Naomichi	文化人類学/ 食事文化/比較文化	人類の基本的な文化要素とい える衣食住の地域をこえた比 較研究に関心をいだき, 特に 世界の諸地域における食文化 の比較研究を展開した。	『食事の文化誌』(岩波書店, 2004) / 『ニッポ ンの食卓 東飲西食』(平凡社, 2006) / 『現 代の食卓』(国立民族学博物館研究報告別冊 16) 37 (国立民族学博物館, 1991) / 『家族と 家事: 20世紀日本の食をめぐる』(生活科 学研究誌) 3 (大阪市立大学, 2004)	開館30周年記念 国立民族学博物館公 開講演会「世界に広 がる日本食」於: 日 経ホール 2007年 10 月 12日	国立民族学博物 館	名誉教 授
12	一柳廣孝/ ICHIYANAGI Hirota	日本近代文学	近代から現代における「心 霊」的ものを言説から研究す る以外に, 心霊写真や降霊術 などからも考察している。	『こっくりさんと千里眼』(講談社, 1994) / 『心霊写真は語る』(青弓社, 2004) / 『オカル トの帝国』(青弓社, 2006)		横浜国立大学	教授
13	茨木正治/ IBARAGI Masaharu	現代政治史	新聞紙上の政治漫画から政論 を読み解く研究を行っている。	『政治漫画』の政治分析』(芦書房, 1997) / 『メディアのなかのマンガ』(臨川書店, 2007)		北陸大学	教授
14	今西一/ IMANISHI Hajime	日本近代史	天皇制国家が成立下での差別 問題・統制される風俗を研究。	『メディア都市・京都の誕生』(雄山閣, 1999) / 『近代日本の差別と性文化』(雄山 閣, 2004)		小樽医科大学	教授
15	岩井宏實/IWAI Hiro	民俗学/民俗学	民具研究や民間信仰, 宗教民 俗学を主に研究し, 絵馬研究 では第一人者である。	『地域社会の民俗学的研究』(法政大学出版 局, 1987) / 『絵馬』(法政大学出版局, 1974) / 『日本の伝説 13』(角川書店, 1976) / 『民具が語る日本文化』(河出書房新社, 1989) / 『技と形と心の伝承文化』(慶友社, 2002)		国立歴史民俗博 物館	名誉教 授
16	岩城紀子/ IWAKI Noriko	日本近代史	絵双六の図像に注目した研究 を展開する。	『化物と遊ぶーなんけんけれどもばけ物双六 (特集・「不思議」を楽しむー江戸のメデ ィアと俗信)』(東京都江戸東京博物館研究報 告) 5 (東京都歴史文化財団, 2000) / 『出世 双六の変化ー幕末から明治へ』(『風俗』32 (3) (日本風俗史学会, 1994)		江戸東京博物館	学芸員
17	岩切友里子/ IWAKIRI Yuriko	日本美術史	歌川派の浮世絵版画研究。近 年は武者絵の論考が多い。	『歌川國芳筆 一ツ家圖』(『國華』1318, 2005 / 『天保改革と浮世絵ー国芳の揃物を中心 にした錦絵の動向と名主単印試考付, 「シタ 売」印についての私見』(『浮世絵芸術』 (143), 2002)		元リッカー美術 館	
18	岩切信一郎/ IWAKIRI Shinichiro	近代浮世絵史 / 日本文学/ 日本芸術論	近代の浮世絵版画史, 橋口五 葉の研究, 児童文化の概論。	『明治版画史』(吉川弘文館, 2009)		東京文化短期大 学 児童生活学 科	教授
19	岩崎佳枝/ IWASAKI Kae	中世和歌文学	職人歌合を中心に, そこに描 かれた女性たちや被差別民の 風俗, 職人達の実像を探る研 究を行う。	『「職人歌合」に見る職人の実像ー『三十二番 職人歌合』(『七十一番職人歌合』を中心に) 『歴史と民俗』24 (平凡社, 2008) / 『職人の 態(わざ)と声ー職人歌合絵から』(『国文学 解釈と教材の研究』41 (4) (学灯社, 1996)	講演「職人絵に 見る中世の女性た ち」 2005年2月19日 山梨県立博物館	元塚山短期大 学	
20	岩崎均史/ IWASAKI Hitoshi	美術史/文化 史	江戸時代を通じて庶民の知的 娯楽のひとつだったなぞ絵, 判じ絵を研究する。日本の喫 煙具の歴史にも詳しい。	『江戸の判じ絵 これを判じてごろうじろ』 (小学館, 2004) / 『判じ絵の諧謔性 (特集 日 本人と笑い)ー(図像に描かれた笑い)』 『国文学: 解釈と鑑賞』75 (5) (ぎょうせい, 2010)		たばこと塩の博 物館	主任学 芸員
21	鶴飼正樹/UKAI Masaki	文化人類学/ 民俗学/社会 学	大衆芸能の社会学的研究	『見世物稼業: 安田里美一代記』(新宿書房, 2000) / 『大衆演劇への旅: 南条まさきの一年 二ヵ月』(未来社, 1994) / 『大道芸の戦略 (特集 文化の戦略性をめぐって)』(『インター カルチュラル』7 (日本国際文化学会, 2009) / 『「根拠さ」の理由ー今を生きる文化とし て (特集 大衆演劇が熱い)』(『上方芸能』170 (『上方芸能』編集部, 2008)		京大文科大学 人間学部 文化 人類学科	准教授
22	碓井みちこ/ USUI Michiko	映像文化	洋画や写し絵など映像を研究 対象として, そのイメージや 表現について研究する。	『写し絵』とは何かーその物語の表現に関 する考察』(『演劇研究』32 (演劇研究, 2008)		関東学院大学	専任講 師
23	内田吉哉/ UCHIDA Yoshiya	日本近世史	近世初期大阪の文化史を研 究。	『豊臣期大坂図屏風』に描かれた景観と人物』 『なにわ・大阪文化遺産学研究会センター二〇 〇八』(関西大学, 2009)		関西大学	特別研 究員
24	浦和男/URA Kazuo	国文学	笑いやことわざ, 笑いと言 をテーマにする。	『画像と笑い: 『図笑論』の可能性』(『笑い学 研究』13 (日本笑い学会, 2006) / 『ことわざ と洒落ーしゃれことば考 (特集 「ことわざ」 の魅力ーことばの知恵)ー(ことわざ の諸相)』(『国文学: 解釈と鑑賞』74 (12) (ぎょうせい, 2009) / 『性と笑い (特集 日 本人と笑い)』(『国文学: 解釈と鑑賞』75 (5) (ぎょうせい, 2010)		文教大学	兼任講 師
25	瓜生吉則/URYU Yoshimitsu	メディア論/ 文化社会学	サブカルチャー・マンガ・競 馬などを社会学的に考察して いる。特にマンガから「少年 の文化」に関して論考があ る。	『マンガの居場所』(共著/NTT出版, 2003) 『カルチュラル・ポリティクス』(共著/せり か書房, 2005) / 『マンガ論』の系譜学』 (『東京大学社会情報研究所紀要』第56号)		立命館大学	准教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
26	江後迪子/EGO Michiko	食文化	江戸期の食文化を主に研究する。九州を中心に調査した成果が豊富である。	『南蛮から来た食文化・南蛮料理にみる日本の食文化の源流』(弦書房, 2004)、『大名の暮らしと食(同成社江戸時代史叢書)』(同成社, 2002)、『雑煮についての一考察』『風俗史学』11(日本風俗史学会, 2000)、『ポルトガルの食文化』『日本調理科学会誌』28(3)(日本調理科学会, 1995)		元広島文教女子大学短期大学/別府大学短期大学部	
27	江原絢子/EHARA Ayako	食文化/食教育史/調理学	人々が築き上げた食生活・食文化について研究する。研究テーマには、日本における料理形式の特徴と変容、近代の料理書の特徴、食教育の歴史的研究、江戸時代の料理書などが挙げられる。	江原絢子・石川尚子・東四柳祥子『日本食物史』(吉川弘文館, 2009)／石川寛子・江原絢子編著『近現代の食文化』(弘学出版, 2002)／『食文化研究の蓄積と今後の課題:調理、料理形式、日常の食生活を中心に』『日本調理科学会誌』42(5)(日本調理科学会, 2009)／江原絢子・増田真裕美「婚礼献立にみる山間地域の食事形態の変遷:江戸期から大正期の家文書の分析を通して」『日本調理科学会誌』38(4)(日本調理科学会, 2005)		東京家政学院大学 家政学部 家政学科	教授
28	及川茂/OIKAWA Shigeru	比較文学/河鍋曉斎/ピゴ-研究	フランス比較文学研究のほか、ジョルジュ・ピゴ-、河鍋曉斎に関する著書がある。	『最後の浮世絵師 河鍋曉斎と反骨の美学』(NHK出版, 1998)／『河鍋曉斎戯画集』(岩波文庫, 1988)		日本女子大学	教授
29	及川祥平/OIKAWA Shohei	日本民俗学	口承文芸研究の立場から「託宣型かわら版」について研究している。	『近世絵画史料の分析を通して見る「くだん」:「託宣型かわら版」とのかかわりを視座に』(『常民文化』31)		成城大学大学院	博士後期課程在籍
30	大久保純一/OKUBO Junichi	日本美術史	江戸時代絵画を広く研究。浮世絵版画に関しては歌川広重作品を中心に研究がある。	『錦絵に描かれた菓子』(『和菓子』17, 2010)／『浮世絵に月はいかに描かれたか』(『國文學 解釈と教材の研究』747, 2007)／『浮世絵』(岩波書店, 2008)／『広重と浮世絵風景画』(東京大学出版会, 2007)／『広重と江戸鳥瞰図』(『国立歴史民俗博物館研究報告』109, 2004)		国立歴史民俗博物館	教授
31	岡恵介/OKA Keisuke	生態学	民俗生態学	『視えざる森の暮らし——北上山地・裏の民俗生態史——』(大河書房, 2008年)		東北化学園大学	教授
32	大島曉雄/OSHIMA Akio	民俗文化財	無形民俗文化財・無形文化遺産の理論的検討を進めている。	『無形民俗文化財の保護——無形文化遺産保護条約にむけて』(岩田書院, 2007)		東京文化財研究所 無形文化遺産部	客員研究員
33	小笠原小枝/OGASAWARA Sae	美学/美術史/染織史	日本伝世の「古渡り更紗」とその源流、中国宋元の染織と「名物裂」に関する研究、中国宋・遼代の染織と「有職織物」に関する研究、大名家伝来染織文化財の調査研究——近世における舶来染織品と「名物裂」など。	『染と織の鑑賞基礎知識』(至文堂, 1998)／『中国美術全集:工芸編7』(京都書院, 1996)／『もの』と文獻、「もの」と絵画資料からのアプローチ(事例研究法をめぐって8)』『日本家政学会誌』52(2)(社団法人日本家政学会, 2001)／『近世初期風俗画に顕れたインド更紗——東洋館開館三十周年記念特集陳列から』『東京国立博物館研究誌』563(東京国立博物館, 1999)		日本女子大学 家政学部 被服学科	教授
34	刑部芳則/OSAKABE Yoshinori	日本史/服飾史	明治国家の服装と華族を中心に研究する。	『鹿鳴館時代の女子華族と洋装化』『風俗史学』37(日本風俗史学会, 2007)／『まぼろしの大蔵省印刷局肖像写真——明治天皇への献上写真を中心に』『中央大学大学院研究年報・文学研究科』38(中央大学大学院, 2009)			
35	小澤弘/OZAWA Hiromu	日本美術史/文化史	『熙代勝覧』など都市図の系譜と江戸を主なテーマとしている。文献資料に合せて、屏風などから中世都市の民衆生活を研究。日本美術史研究。	『活気にあふれた江戸の町『熙代勝覧』の日本橋』(小林忠との共著, 小学館, 2006)／『鑑形恵斎・江都名所図会の世界』(大空社, 1993)	セミナー「描かれた将軍」2003年8月15日 江戸東京博物館/「安政江戸地震と「名所江戸百景」第22回歴史地震研究会2005年9月17日	東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	教授
36	小野寺淳/ONODERA Atsushi	地理学/歴史地理学	江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化の研究を行っている。GISを用いた近世の国絵図・村絵図に関する先端研究を手がける。	『近世絵図の画像処理と計量的分析』(文部省科学研究費報告書, 1995-1996)／『国絵図の画像処理による東北地方の環境・景観変化に関する研究』(文部省科学研究費報告書, 1999-2000)／『近世河川絵図の研究』(古今書院, 1991)		茨城大学	教授
37	小野恭靖/ONO Mitsuyasu	日本歌謡史/伝統音楽/言語遊戯	日本歌謡史の研究、中でも日本の古典時代、特に中世・近世の流行歌の歌詞の分析を行ってきた。近年では、なぞ、しゃれ、回文などのことば遊びの史的研究や現代の流行歌の研究を行う。	『絵の語る歌謡史』(和泉書院, 2001)／『近世歌謡の諸相と環境』(笠間書院, 1999)		大阪教育大学 教育学部教養学科 教養学科 日本・アジア言語文化講座	教授
38	香川雅信/KAGAWA Masanobu	日本民俗学	日本の「妖怪文化」を玩具/絵図資料から研究。	『江戸の妖怪革命』(河出書房新社, 2005)		兵庫県立博物館	学芸員
39	影山貴彦/KAGEYAMA Takahiko	社会学	メディアエンターテインメント。エンターテインメントの見地に立つマスメディアの研究。特に笑い芸能、放送業界に注目した研究がある。	『笑いの東西比較:若者深夜ラジオ番組制作経験から浮き彫りになる気質の差異』『笑いの学』14(日本笑い学会, 2007)／『起承転結なき笑い——笑いの質的変化(特集 分散の笑い パーソナルへ)』『上方芸能』156(『上方芸能』編集部, 2005)		同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科	教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
40	片岡康子/ KATAOKA Yasuko	舞踊芸術学/ 舞踊教育学	ダンスと教育現場, 特に女子教育の場における舞踊をテーマにした業績が多数.	『特別講演 ダンスは生命をのせて人と世界を結ぶ』(愛する力 探る 第42回全国女子体育研究大会(福岡大会) 報告特集号)『女子体育』51(3)(日本女子体育連盟, 2009)『日本の大学におけるダンス教育(特集 劇場芸術教育)』『演劇人』(2)(演劇人会議, 1998)		元お茶の水女子大学 文教育学部 芸術・表現行動学科	
41	香月洋一郎/ KATSUKI Yoichiro	民俗学/集落 景観論/ライ フヒストリー 論	専門は民俗学, 主に村落景観論, 景観写真, 職人, 猿回しなども研究対象にする.	『山に棲む』(未來社, 1998)『空からのフォークロア』(筑摩書房, 1989)『景観のなかの暮らし』(未來社, 1983)『記憶すること 記録すること』(吉川弘文館, 2002)『訳書『ハワイ日系移民の服飾史』(B・カワカミ)(平凡社, 1998)		元神奈川大学	
42	加藤康子/ KATO Yasuko	日本文学	豆本, 絵双六などを研究対象とした, 江戸時代から明治時代の児童文学と児童文化の研究を行う.	『絵双六に見られる庶民文化の空間(特集(近世)という空間)』『日本文学』53(10)(日本文学協会, 2004)『幕末・明治の子どもがみた狐——絵双六と豆本をめぐって』梅花児童文学8(梅花女子大学児童文学会, 2000)		梅花女子大学 文化表現学部 児童文学科	教授
43	アダム・カバット /Adam KABAT	近世・近代日 本文学/比較 文学	主に幻想文学を研究している. 近世の草双紙(赤本・黒本・黄表紙・合巻)における化物像.	『江戸化物草紙』校注編(小学館, 1999)『大江戸化物細見』校注編(小学館, 2000)『大江戸化物図譜』(小学館文庫, 2000)『妖怪草紙 くずし字入門』(柏書房, 2001)		武蔵大学 人文 学部比較文化学 科	教授
44	亀井好恵/ KAMEI Yoshie	民俗学	女相撲, 女子プロレスの民俗的研究.	『女子プロレス民俗誌——物語のはじまり』(雄山閣出版, 2000)『民俗文化における女の力について——女の大力・興行女相撲を中心に(特集 民俗学の諸相)』『史潮』49(弘文堂, 2001)『女相撲への憧憬——興行女相撲の地域への影響を中心に(旅する芸人たち)』『別冊東北学』7(東北芸術工科大学東北文化研究センター, 2004)		武蔵野美術大 学・成城大学民 俗学研究所	非常勤 講師・ 研究員
45	河上繁樹/ KAWAKAMI Shigeki	日本染織史	日本の染織史(中・近世)や, 日本に影響を与えた中国の染織. 豊臣秀吉を中心とした桃山時代の染織や服飾, および東福門院を中心とした江戸時代前期の小袖について研究している.	京都国立博物館編『花洛のモード——きもの時代』, 『総説花洛のモード——きもの時代』, 『魅せるアジア・アフリカ! ——映像人類学の新天地——』(新宿書房, 2006)『Room 11, Ethiopia Hotel』2007, Directed by Itsushi Kawase, Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland, Ethnographic Film DVD 24 min Amharic (English Subtitles)	講演「日本の伝統美, 江戸時代の「きもの」を復元する, 一東福門院の小袖から友禅染まで」2008 広島大学教育学部 平成19年度造形芸術教育学講座特別授業『アートの達人』	関西学院大学	教授
46	川瀬慈/ KAWASE Itsushi	映像人類学/ 民族誌映画 /アフリカ音 楽	民族誌映画制作方法論の開拓, エチオピアの音楽職能集団に関する人類学的研究	北村皆雄・新井一寛・川瀬慈編『見る・撮る・魅せるアジア・アフリカ! ——映像人類学の新天地——』(新宿書房, 2006)『Room 11, Ethiopia Hotel』2007, Directed by Itsushi Kawase, Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland, Ethnographic Film DVD 24 min Amharic (English Subtitles)	「東京写真美術館開館15周年記念カフェ・プロジェクト」映像人類学特集のキュレーションサポート	日本学術振興会	海外特 別研究 員
47	川添裕/ KAWAZOE Hiroshi	芸能史/日本 文化史	見世物文化についてフィールドワーク, 江戸の浮世絵などから考察. 表現文化やコミュニケーション文化としての見世物を考察. HPあり.	『江戸の見世物』(岩波書店, 2000年)『見世物探偵が行く』(晶文社, 2003)		横浜国立大学	教授
48	川田順造/ KAWADA Junzo	文化人類学	西アフリカのモン族を調査し, 無文字社会の歴史と文化を研究する. 声や音による豊かな表現, 伝達の研究でも知られる. 身体技法の研究.	『無文字社会の歴史——西アフリカ・モン族の事例を中心に』(岩波書店, 1976)『西の風・南の風——文明論の組みかえのために』(河出書房新社, 1992)『口頭伝承論』(河出書房新社, 1992)『人類学的認識論のために』(岩波書店, 2004)		神奈川大学	特別招 聘教授
49	河田明久/ KAWADA Akihisa	日本美術史	「戦争と美術」, とくに明治期から十五年戦争期の戦争画を研究. 油絵などの美術作品以外に, ポスター・挿絵などのエフェメラルメディアも一次史料としている.	『SKとTA——『従征日記』の挿絵画家』(『近代画説』19, 2010)『戦争「絵画」の隘路について——挿絵・パノラマ・戦争画』(『美術フォーラム21』12, 2005)『岩波近代日本の美術1 イメージの中戦争』(岩波書店, 1996)		千葉工業大学	准教授
50	姜峻/KAN Jun	民俗学/文化 人類学/表象 文化論	語りの文化について, 街頭紙芝居を実例に研究.	『紙芝居と「不気味なもの」たちの近代』(青弓社, 2008)		城西国際大学	准教授
51	菊池勇夫/ KIKUCHI Isao	日本近世史	近世の東北地方の飢饉・環境に関する研究. 北方の境界認識とアイヌ民族の文化や交易に関する研究. 近世東北の生活文化史を画像資料から研究.	『菅真澄』(人物叢書)(吉川弘文館, 2007)『「味方」アイヌの御目見——『夷酋列傳』成立の背景』(『キリスト教文化研究所研究年報』41, 2007)『飢饉の社会史』(校倉書房, 1994)『天明3年『大凶年店表日記』写録細書并青森出火之図』(『青森県史研究』8, 2003)『アイヌ民族と日本人』(朝日新聞社, 1994)		宮城学院女子大 学	教授
52	菊池理予/ KIKUCHI Riyo	工芸技術	服飾史	無形文化遺産としての工芸技術——染織分野を中心として——『無形文化遺産研究報告』3(東京文化財研究所 2009)		東京文化財研 究所 無形文化 遺産部	研究員
53	北原糸子/ KITAHARA Itoko	日本近世・近 代史	災害史研究の立場から, 近世近代の災害絵図・かわら版・写真を分析. 安政江戸地震・関東大震災などの後に残された画像史料の分析から, 災害からの復旧・慰霊などを考察.	『近世災害情報論』(塙書房, 2003)『災害ジャーナリズム』(歴史民俗博物館振興会, 2001)『地震の社会史』(講談社, 2000)『磐梯山噴火』(吉川弘文館, 1998)		立命館大学	特別招 聘教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
54	吉城寺尚子/ KICHIJOJI Naoko	美学/美術史	北方ルネサンス絵画研究, 美術におけるジェンダー研究	『パンの版画』(石橋財団ブリヂストン美術館, 1996)/『神話と聖書の図像学』(ブリヂストン美術館, 1999)/『ブリューゲルの球体世界をめぐる』『ブリヂストン美術館・石橋美術館館報』39 (ブリヂストン美術館, 1992)		城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科	助教授
55	吉川周平/ KIKKAWA Shuhei	宗教学/美学/美術史/文化人類学/民俗学	日本伝統芸能と日本の伝統音楽, 民俗芸能における神楽の諸相や, 日本伝統音楽を対象とする音楽図像学の総合研究, 盆踊りの諸相を研究.	森永道夫編『日本伝統芸能学の構築のために——身体ウゴキの観察と分析の方法』『芸能と信仰の民族芸術』(和泉書院, 2003)/『日本舞踊の理論——舞踊の要素, 構造, 動作の分析』『日本の音楽・アジアの音楽』(岩波書店, 1989)/『世阿弥がとらえた中世日本の神と鬼との身体動作の表現の相違——『風姿花伝』『第二物学条々』の「神」と「鬼」の条をめぐる』『民族芸術』17 (民族芸術学会, 2001)/『ボンアシ——盆踊りにおける足の運びが意味すること(特集 身体表現)』『体育の科学』47 (8) (杏林書院, 1997)		元京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	
56	金貞我/KIM Jeong Ah	美術史	日本・東洋美術史	『風俗表現における図様の伝統と創造——東アジア風俗画資料の作例から——』(『人類文化研究のための非文字資料の体系化』3号, 2006)/『申潤福筆『園傳心帖』について』(『人類文化研究のための非文字資料の体系化』2号, 2004)/『宗達派『伊勢物語絵巻』の考察』(『美術史』45号)/『美人図のイコノロジー: 朝鮮時代の烈女像』村井まや子編『ジェンダー・ポリティクスを読む——表象と実践のあいだ』(御茶の水書房, 2010)		神奈川大学 外国語学部	准教授
57	倉島哲/ KURASHIMA Akira	社会学	身体技法の認識論的側面に関する研究と武術の社会学的研究	『武術教室における身体技法の形成——「線」の感覚を手がかりに——』:『日常実践のエスノグラフィ——語り・コミュニティ・アイデンティティ——』(世界思想社, 2002)/『社会学理論における身体観の二元論——自然主義的身体観と社会構築主義的身体観を超えて——』『京都社会学年報』5 (京都大学, 1997)		京都大学 人文科学研究所 文化研究創成研究部門	助手
58	蔵持重裕/ KURAMOCHI Shigehiro	日本中世史	中世の合戦/訴訟に於ける「顔見せ」「名乗り」の意味を画像資料と文献資料から考察.	『声と顔の中世史 戦さと訴訟の風景より』(吉川弘文館, 2007)		立教大学	教授
59	グロスマン アイケ/ Eike GROSSMANN	日本演劇研究	黒川能の研究.	『黒川能研究の現状と将来』『演劇研究センター紀要 VII 早稲田大学 21世紀 COE プログラム <演劇の総合的研究と演劇学の確立>』7 (早稲田大学演劇研究センター, 2006)		フランクフルト大学	専任講師
60	黒田智/ KURODA Satoshi	中世日本文化史/歴史図像学/絵画史料論	肖像画や絵図を読み解き絵画史料として分析する.	『豊臣秀次・妻子像を読み解く(特集 語りかける絵画 イメージ・テキスト・メディア)』『文学』10 (5) (岩波書店, 2009)/『絵画史料論と動物史——忘れられた馬の焼印をもとめて(特集 2009年歴史学の焦点)』『歴史評論』715 (校倉書房, 2009)	『絵画史料と環境史の射程』(環境/文化史研究会 於上智大学 2008 口頭発表)	早稲田大学 高等研究所	准教授
61	黒田日出男/ KURODA Hideo	日本中世史	画像資料を使用した中世史研究の開拓者.	『王の身体王の肖像』(平凡社, 1993)/『龍の棲む日本』(岩波書店, 2003)/『絵画史料で歴史を読む 増補』(筑摩書房, 2007)/『江戸図屏風の謎を解く』(角川学芸出版, 2010)		立正大学	教授
62	ジェラルド・グローマー/ Gerald Groemer GROEMER	近世芸能史/ピアニスト	唄本仕立てのかわら版を研究. 替女, 願入坊主, 江戸の小芝居・宮地芝居, 津軽三味線を通し, 芸術文化を社会の底辺から見直す作業を行っている.	『幕末のはやり唄 口説き節と都々逸の新研究』(名著出版, 1995)		山梨大学 教育人間学部	教授
63	河野通明/ KOUNO Michiaki	日本経済史	牛馬を使った犁耕作による農業生産力発展を日本・東アジアで考察. 四季耕作図を解説し, 農村の景観・庶民の身体技法・くらしを考察.	『日本農耕具史の基礎的研究』(和泉書院, 1994)/『長谷川雪旦筆「四季耕作図屏風」の基礎的検討』(『国立歴史民俗博物館研究報告』117, 2004)/『八丈島の「四季耕作屏風」二点』(『民具マンスリー』412) (日本常民文化研究所, 2002)/『博物館活動と四季耕作図研究——四季耕作図研究の過去・現在そして将来』(『歴史と民俗』18) (日本常民文化研究所, 2002)/『四季耕作図の変遷——人物数と場面配置から切る (1)~(3)』(『民具マンスリー』30 (7)(8)(10), (1997~1998)		神奈川大学	非常勤講師
64	小林正佳/ KOBAYASHI Masayoshi	宗教学/文化人類学/民俗学	民俗舞踊の舞踊論, 身体技法を通してみた東アジアの宗教交流史, 音楽と身体に関する民族美学的研究.	『舞踊論の視角』(青弓社, 2004)/『踊りと身体の回路』(青弓社 1991)/『踊る「からだ」と「心」』成瀬信策編『健康とスポーツの臨床動作法』(至文堂, 1992)		天理大学 人間学部 総合教育研究センター	教授
65	今駒清則/ KOMMA Kiyonori	メディア情報学/写真	デジタル写真システムの開発と応用を研究する. これまでに, 能楽の映像化とアーカイブ, その画像データベースの構築などを手掛ける.	『ぶたい 能楽と写真』『楽劇学』14 (楽劇学会, 2007)		大阪芸術大学 芸術学部 写真学科	
66	小馬徹/ KOMMA Toru	文化人類学/アフリカ研究/日本研究	国家主導の社会, 文化変化と地域的適応をテーマに, 研究対象としては日本各地の地方史(誌), スワヒリ語, 相撲, 河童, ユーミン, 交換論, 放屁論など幅広く研究する.	『田主丸町誌』(全三巻) (田主丸町編集委員会, 1996)/神奈川大学人文学研究所編 小馬徹他『笑いのコスモロジー』(勤草書房, 1999)/『贈り物と交換の文化人類学: 人間はどこから来てどこへ行くのか』(御茶の水書房, 2000)		神奈川大学 人間科学部 人間科学科	教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
67	斉藤多喜夫/ SAITO Takio	写真	古写真の中でも主として横浜写真を対象として研究を行う。	『写真の考古学（私史料の世界〈特集〉）』『地方史研究』41（6）地方史研究協会編、『彩色アルバム 明治の日本（横浜写真）の世界』有隣堂 1990/『横浜居留地と異文化交流』（山川出版社 1995）	シンポジウム73 『写真史研究の広がり—映像資料と日本文化史研究』の解説と発表。2004年9月13日、日文研共同研究室	元横浜開港資料館	
68	佐多芳彦/SATA Yoshihiko	日本美術史/ 中世史/有職故実/儀式文化史	絵巻物や浴中浴外図などの美術作品からの有職故実研究。貴族・武士・庶民など、あらゆる階層の人々の姿を考察する。さらに、最新のIT技術を活用した歴史学を推進している。	『儀式・儀礼と装束』『歴史をよむ』（歴史科学協議会編、東京大学出版会、2004）/『服制と儀式の有職故実』（吉川弘文館、2008）/『朝服』と束帯—用例からみた平安初期公家服制』『風俗史学』（24）（日本風俗史学会、2003）		国学院栃木短期大学	准教授
69	佐藤健二/SATO Kenji	社会学/文化社会学/社会調査論	社会学。柳田国男の全テキストのデータベース化と文化資源化、画像資料論についても研究。絵葉書に関する論考もある。	『流言蜚語 うわさ話を読みとく作法』（有信堂高文社、1995）/『読書空間の近代 方法としての柳田国男』（弘文堂、1987）/『歴史社会学の作法』（岩波書店、2008）		東京大学 人文社会学系研究科	教授
70	佐藤守弘/ SATO Morihiko	芸術学/写真史/視覚文化論	近代の日本における風景の果たした社会的な機能について研究。研究対象として扱ってきたのは、江戸泥絵、横浜写真、20世紀初頭の芸術写真、1930年代の都市写真などがある。	1996年5月“Edo Doro-e: Gaze on Urban Space in Early Modern Japan.” Master’s Essay, Columbia University: Master of Arts in Liberal Studies: East Asian Studies 2005年7月「トポグラフィの視覚文化論—19世紀後期から20世紀初頭の日本における景観表象の諸相」同志社大学、博士（芸術学）学位論文	2007年7月“Yokohama Shashin and Representation of Japan in the Late Nineteenth Century Visual Culture”（パネル5: Redrawing Other’s Space: Landscapes, Geographies, and the Formation of Identities in the Japanese Empire）. 表象文化論学会第2回大会、於東京大学	京都精華大学 デザイン学部	准教授
71	澤田美砂子/ SAWADA Misako	身体教育学/ 舞踊教育学	舞踊の動作を、三次元動作解析という方法を手がかりにして、舞踊者の感情表現動作の空間性や質、軌跡形状を評価することなどに用いる調査を行っている。	『三次元動作解析による舞踊の感情表現動作の空間性評価に関する研究 Emotional Expression in Dance: A Three-Dimensional Analysis of Special Characteristics』『日本女子大学紀要 家政学部』56（日本女子大学、2009）/『身体動作と感情表現（特集 スポーツと感情表現）』『体育の科学』59（杏林書院、2009）		日本女子大学 家政学部 児童学科	助教
72	篠原徹/ SHINOHARA Toru	民俗学	人と自然の関係をめぐる民俗学的研究。	『自然と民俗』日本エディタースクール出版部 1990/『環境民俗学の可能性』『日本民俗学』200号（日本民俗学会 1994）/『ヒツジの名称体系』『国立歴史民俗博物館研究報告』第61集（国立歴史民俗博物館、1995）/『海と山の民俗自然誌』（吉川弘文館 1995）/『民俗の技術とはなにか』『民俗の技術』（朝倉書店 1998）		滋賀県立琵琶湖博物館	館長
73	清水勲/ SHIMIZU Isao	日本漫画史	日本漫画史を近代から研究、日本漫画資料館主催。ジョルジュ・ピゴーに関する著作など、日本漫画史の概説書多数。	『年表 日本漫画史』（臨川書店、2009）/『絵で書いた日本人論：ジョルジュ・ピゴーの世界』（中央公論社、1981）/『江戸のまんが』（文芸春秋、1981）/『江戸のナンセンス漫画』『帝京平成大学紀要』21（2）（帝京平成大学、2010）		帝京平成大学（THU）現代ライフ学部 人間文化学科（2008年当時）	教授
74	城一夫/JO Kazuo	美学/美術史	ファッションの記号論的研究、花鳥風月、家紋、意匠といった装飾文様の文化史的研究、色彩の東西比較、色彩の文化史的研究を行う。	『色彩の宇宙誌：色彩の文化史』（明現社、1993）/『色彩博物館』（明現社、1994）/『西洋染織文様史』（朝倉書店、1995）/『装飾文様の東と西』（明現社、1996）		元共立女子短期大学 生活科学科	
75	白井哲哉/ SHIRAI Tetsuya	日本近世史	江戸幕府による地誌、家譜など編纂書の研究、及び近世村落における文書支配の実態を近世文書から研究。公的編纂物としての国絵図研究にも造形が深く、とくに関東の河川図に注目している。	『近世中期の新田開発と検地絵図—武蔵国大里郡樋口村の原地新田を事例に』（『文書館紀要』19、2006）/『日本近世地誌編纂史研究』（思文閣出版、2004）/『日本六十余州国々切絵図』の地域史的考察—下総国絵図を事例に』（『駿台史学』104、1998）		筑波大学	准教授
76	新藤茂/SHINDO Shigeru	浮世絵史	役者絵を中心に浮世絵を研究。歌舞伎・落語などの江戸文化と浮世絵に関する考察も多い。	『五渡亭貞貞〈役者絵の世界〉』（グラフィック社、1993）、『浮世絵の贋作カタログ』（ヨコハマ浮世絵サロン、1998）/『図説「見立」と「やつし」〈日本文化の表現技法〉』（共著、八木書店、2008）		東京工芸大学大学院	非常勤講師

研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
77 菅豊/SUGA Yutaka	文化人類学/民俗学	新潟県小千谷市の越後闘牛を研究対象として文化資源の順応的管理に関する研究を行う。また、錦鯉に注目して、日本の伝統文化の創造と全球的拡散、トランス・ナショナリズムに関する動的的研究を行う。	『川は誰のものか——人と環境の民俗学——』(吉川弘文館, 2006)、『修験がつくる民俗史——鮭をめぐる儀礼と信仰——』(吉川弘文館, 2000)	「里の水辺は誰のものか——これからの里を考える」(金沢大学「里山プロジェクト」, 東北大学GCOE「環境激変への生態系適応に向けた教育研究」主催シンポジウム「SATOYAMAの生物多様性保全——森・川・海のつながりを活かした人のいとなみ——」(金沢大学, 2008.11.15, 金沢, 基調講演 2008 口頭発表)	東京大学 東洋文化研究所 汎アジア研究部門	教授
78 菅原真弓/SUGAWARA Mayumi	日本美術史	幕末維新期・明治期の浮世絵版画, 特に歌川芳年の研究。歴史画の考察など。	『浮世絵版書の十九世紀 風景の時間, 歴史の空間』(ブリュッケ, 2009)		京都造形芸術大学	准教授
79 杉本史子/SUGIMOTO Fumiko	日本近世史	裁許絵図を題材に近世社会の境界争論を研究。国絵図の高精細画像撮影計画を経て、デジタルデータベース構築を推進。	『領域支配の展開と近世』(山川出版社, 1999)	「国絵図と出版文化——身分社会と文化生産」(於茨城大学, 茨城大学社会連携支援事業・日本地理学会 2005 年秋期学術大会, 2005 年 9 月)	東京大学史料編纂所	准教授
80 鈴木康史/SUZUKI Koshi	スポーツ科学/身体文化学	近代日本の身体文化・大衆文化論, ユースカルチャーの社会史。歴史学, 社会学の方法を援用しながら, 多様な領域を横断し, 文化史, 社会史, 思想史的な研究を行う。	「明治期日本における「主体」の変容と「身体」のゆくえ (フォーラム 近代日本における倫理的主体の形成と身体観の変容)」『近代教育フォーラム』18 (教育思想史学会, 2009) / 「近代日本の身体観の歴史的研究序説——問題の設定」『体育思想研究』2 (体育思想研究編集委員会, 1997)		奈良女子大学 文学部 人間科学科	准教授
81 鈴木孝/SUZUKI Takashi	音楽学		「音楽データベース: 音楽情報の記号化とデータベース (〈特集〉人文・芸術系のデータベース: 今そしてこれから)」『情報処理』38 (5) (社団法人情報処理学会, 1997)		元国立民族学博物館	
82 M. ウィリアム・スティール/STEELE, M. William	江戸時代後期と明治時代の政治史	黒船かわら版を分析し, 近代列強の勢力関係に巻き込まれた日本近代を分析。	『もう一つの近代』(ベリかん社, 1998)		国際基督教大学 教養学部	教授
83 須藤義人/SUDO Yoshihito	映像民俗学/民俗芸能論	琉球諸島における「棒踊り系芸能」の舞踊学的研究, 琉球諸島における「弥勒神」の図像学的研究。	池田雅之監修『共生と循環のコスモロジー——日本・アジア・ケルトの基層文化への旅——』(成文堂, 2005) / 「フェュヌシマ」の芸術研究に関する試論: 記録映像の分析を手法として」『沖縄大学地域研究所報』31 (沖縄大学, 2004)		沖縄大学 人文学部	専任講師
84 セップ・リンハルト/Sepp Linhart	日本社会学	主として過去から現在に至る「日本人の余暇行動」について研究を重ねている。	『拳の文化史』(角川叢書, 1998) / 『余暇を通じてみた日本文化』(SUNY Press 1998)	「オーストリアにおける浮世絵—公私コレクション及び展覧会の過去と現在」(国際浮世絵学会第14回大会, 2009.11.14-15, 慶応義塾大学)	ウィーン大学文学部 文献学文化部・東アジア研究所	教授・所長
85 大丸弘/DAIMARU Hiroshi	服飾民俗		『国立民族学博物館所蔵 衣服標本カタログ』『国立民族学博物館研究報告別冊』(19-1) (国立民族学博物館, 1998)		元国立民族学博物館	
86 タイモン・スクリーチ/TIMON Screech	美術史	「視覚」がもつ文化的意義を考察。為政者の資格の政治利用, 松平定信の政治観を「視覚」から推察するなど, 大胆な切り口を展開。	『大江戸異人往来』(高山宏訳, 丸善ブックス, 1995) / 「江戸の身体を開く」(高山宏訳, 作品社, 1997) / 『大江戸視覚革命 十八世紀日本の西洋科学と大衆文化』(田中優子・高山訳, 作品社, 1998)		ロンドン大学	教授
87 高桑いづみ/TAKAKUWA Izumi	古典芸能		「X線透過撮影による能管・龍笛の構造解明」『無形文化遺産部研究報告』3 2009 / 「世阿弥自筆本の節付を考える——「難波梅」から「盛久」「江口」まで」『無形文化遺産部研究報告』2 東京文化財研究所 2008 / 「過渡期の鼓胴その後」『無形文化遺産部研究報告』1 東京文化財研究所 2007		東京文化財研究所 無形文化遺産部	研究室長
88 鷹巣純/TAKASU Jun	美学/美術史	六道絵, 十王図, 地獄図, 六道十王図に関する研究と, 横死, 死者供養に注目した図像の研究。	「東西中世の絵画にみる他界観——悪道と煉獄の比較を中心に——」『佛教学』23, (1999) 仏教学会 / 「四苦図像の系統と展開——病苦と死苦の図像を中心に——」『密教図像』12 (密教図像学会 1993) / 「嘔吐者の図像——六道絵と法華経絵の図像的接点」『美学美術史研究論集』11 (名古屋大学文学部美学美術史研究室 1993)		愛知教育大学 教育学部 創造科学系 美術教育講座	准教授
89 高田公理/TAKADA Masatoshi	情報文明学/都市文化論/観光文化論	生活文化と世相の変容に関する研究を行っている。近年には嗜好品としての水や食についても調査。	高田公理編『料理屋のコスモロジー』(ドメス出版, 2004) / 「食文化史・現代——「飢餓」から「食の簡便化・趣味化」へ」原田信男・編『日本の食文化』(放送大学教育振興会, 2004) / 「日本の洋食」の成立と展開——明治・大正・昭和初期を中心に」『日本食品新素材研究会誌』10 (1) (菓子・食品新素材技術センター, 2007)		佛教大学 社会学部 現代社会学科	教授

	研究者名／英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
90	高橋剛英／ TAKAHASHI Norihide	文化財科学／ 美学／美術史	幕末明治期の初期写真技法の復元再生と再撮影に関する研究、幕末明治期写真の再撮影による初期写真技術の検証と近代日本の環境変化の考察、幕末明治期の初期日本写真史における写真技法に関する研究。	『上野彦馬と初期写真家の撮影術』『古写真研究』(3)(長崎大学附属図書館, 2009)／『日本の近代化を記録した写真：富重写真所資料を中心として』『日本写真学会誌』65(2)(日本写真学会, 2002)		日本大学 芸術学部 写真学科	教授
91	高橋晴子／ TAKAHASHI Haruko	メディア情報学／データベース／人文社会情報学／文化人類学／民俗学	国内外身装関連データの分析およびデータベース作成、国内外身装画像の調査および分析、身装画像、日本、フランスを調査地にした、身装、身体、装いの研究。また、アジアにおけるアクセサリ・身装文化、画像、非図書資料デジタルアーカイブの研究。「近代美人データベース」を構築中(未公開)。	『近代日本の新聞連載小説挿絵——身装情報としての評価』『アート・ドキュメンテーション研究』(15)(アート・ドキュメンテーション学会, 2008)／『近代日本の身装文化「身体と装い」の文化変容』(三元社, 2005)		大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教養教育	教授
92	高正晴子／ TAKAMASA Haruko	食文化	朝鮮通信使の饗応を主要テーマに、饗応料理の内容や食材の調達法など、通信使関係の記録を分析して調査した。	『朝鮮通信使をもてなした料理——饗応と食文化の交流』(明石書店, 2010)／『朝鮮通信使の饗応』(明石書店, 2001)／『近世砂糖製法書の成立——甘さの文化の隆盛』『会誌食文化研究』(1)(日本家政学会食文化研究部会, 2005)／『料理書に見る行事と鯨料理』『日本家政学会誌』48(5)(社団法人日本家政学会, 1997)		元梅花短期大学	
93	滝口正義／ TAKIGUCHI Masaya	日本近世史	江戸の千社札研究を突破口に、江戸文化研究を行う。	『千社札にみる江戸の社会』(同成社, 2008)、『江戸の社会と御免富』(岩田書院, 2009)		千代田区四番町 歴史資料館	学芸員
94	田口洋美／ TAGUCHI Hiromi	環境学／民俗学／文化人類学	中部東北日本の狩猟文化研究を行う。生物の多様性を基盤とする先人の狩猟採集活動について歴史社会的な文脈を重視しながら技術や行動に着目して研究する。	『マタギを追う旅：ブナ林の狩りと生活』(慶友社 1999)／『越後三面山人記：マタギの自然観に習う』(農山漁村文化協会 1992)『異獣を視点とした農耕地帯と非農耕地帯の狩猟システム』『東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要』6(東北芸術工科大学東北文化研究センター, 2007)		東北芸術工科大学	教授
95	竹内オサム／ TAKEUCHI Osamu	児童文学研究	マンガ研究。大学でのマンガ研究の草分け、手塚治虫作品の視点考察など、マンガの絵自体の分析を開始した。	『マンガ表現学入門』(筑摩書房, 2005)／『本流!マンガ学』(見洋書房, 2009)		同志社大学	教授
96	竹内有一／ TAKEUCHI Yuuichi	美学／美術史／日本文学／日本史／文化人類学／民俗学	正本、うた本、浄瑠璃本、稽古本、段物集、曲節譜を対象とする近世邦楽の詞章本の書誌的研究、関西における江戸音曲の伝承、歌舞伎の地方(じかた)一伝承と演出、歴史と現在一、胡弓の受容と現在。	『稽古本の意義——浄瑠璃とせりふ——』『日本伝統音楽研究センター研究報告』(竹内有一編)2(日本伝統音楽研究センター, 2008)／『文化14年のピアノ奏図：日蘭交流の舞台裏』『研究紀要』36(国立音楽大学, 2001)	「じょうるり西・東——義太夫節と常磐津節——」(日本伝統音楽研究センター平成18年度第1回公開講座(京都府立府民ホールアルティ, 2006その他)	京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	准教授
97	竹内由紀子／ TAKEUCHI Yukiko	日本民俗学／食文化	食習慣、器と行事食、食のタブーやジェンダー、食育まで幅広く研究する。	『饗宴の食文化再考——神奈川県事例から』『民俗学論叢』13(相模民俗学会, 1998)／『器と料理文化——村上市のダイカイを事例に』『民具マンスリー』29(9)(神奈川大学, 1996)／『重層する食生活：新潟県北部一農村の「ゴツォ」を事例に』『常民文化』16(成城大学, 1993)		成城大学 民俗学研究所	研究員
98	武田佐知子／ TAKEDA Sachiko	日本史／日本古代史／服装史	古代史の視点から、衣服と身体、絵画などを対象に研究する。	『中国の衣服制と冠位十二階——五行思想と服色』『女子美術大学紀要』(女子美術大学, 1983)／『古代国家の形成と衣服制——袴と貫頭衣』(吉川弘文館, 1984)／『聖徳太子のかたち——絵画・彫刻から太子イメージを探る(特集 聖徳太子の謎にせまる)』『東アジアの古代文化』(大和書房, 2000)	科研代表者「静止画像の律動化のための資料蒐集と学際的研究——『一遍聖絵』の絵画表現と詞書を中心として——」1993年度～1995年度。歴史学、国文学、宗教学、民族学などの各研究者の専門的視点から『一遍聖絵』を検証。各専門分野から問題提起を相関させ、報告書作成にむけての討論がなされた。	大阪大学	教授
99	田島奈都子／ TAJIMA Natsuko	日本美術史／デザイン史	明治中期から大正期のポスターデザイン、とくに美人画をつかった酒のポスターに関して研究。	『明治・大正・昭和 お酒の広告グラフィティ——サカヅ・コレクションの世界』(国書刊行会, 2006)		兵庫県立美術館	学芸員
100	田中葉子／ TANAKA Yoko	日本近世史	黒船かわら版に関する研究を行っている。	『ペリー来航をめぐる狂歌——「泰平の眠りをさますじようせん」の検討』『開国史研究』(6)(横須賀市, 2006)		東京大学史料編纂所	非常勤職員
101	田辺昌子／ TANABE Masako	日本美術史	江戸時代の肉筆風俗画を皮切りに、浮世絵版画の研究を行う。	『浮世絵のことは案内』(東京書籍, 2005)		千葉市美術館	学芸員

	研究者名／英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
102	谷澤容子／ TANISAWA Yoko	食生活学／調理科学	日本・フランス・スペイン・中国・ミャンマーの米料理やフランス・中国の日常食について、調理科学の視点から実態調査を行っている。	『中国山東省の日常の食生活』『星美学園短期大学研究論叢』35（星美学園短期大学，2003）／谷澤容子・中谷圭子・畑江敏子「フランス人の日常食についての実態調査：1993年ストラスブールの主婦の場合」『日本調理科学会誌』35（4）（日本調理科学会，2002）		甲子園大学	准教授
103	玉井哲雄／ TAMAI Tetsuo	日本建築史／都市史	中国大陸・朝鮮半島・日本列島の比較建築史研究，日本列島都市空間の中世から近世にかけての転換過程に関する研究，絵画史料・考古学発掘史料による日本建築史の再構築	『東アジアにおける江戸の都市空間』『日本の時代史』14（吉川弘文館，2003）／『江戸 失われた都市景観を読む』（平凡社，1986），『図説日本建築の歴史』（河出書房新社／2008）	『日本の民家一東と西一』 2009年1月10日（土）国立歴史民俗博物館 講堂	国立歴史民俗博物館 研究情報資料研究系	教授
104	玉置育子／ TAMAKI Yasuko	化粧文化学／身体装飾論	「化粧」，「よそおい（粧い・装い）」をキーワードに研究する。研究対象は化粧だけでなく、アイプチ、ピアス、美容整形まで広げ、特に日本の若者達を感じる身体価値観も追求する。	玉置育子・横川公子「化粧文化史の変遷と流行した化粧の受け入れ方についての研究」『コスメトロジー研究報告』11（コスメトロジー研究振興財団，2003）／『男の眉の変遷（特集 20世紀の若者文化）』『化粧文化』40（ポーラ文化研究所 2000）		大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科	講師
105	千葉正樹／ CHIBA Masaki	日本近世史／地域文化論／ミュージアムデザイン	江戸名所絵図の挿絵を「近景」「遠景」「超遠景」と分類して視覚分析を行い、近世的な視覚文化を分析し、近代や現代への影響をも考察した。	『江戸名所図会の世界』（吉川弘文館，2001）／『江戸城が消えていく』（吉川弘文館，2007）		尚絅学院大学	准教授
106	土屋礼子／ TSUCHIYA Reiko	社会学	小新聞研究を皮切りに、錦絵新聞、対日伝単の人証的研究や、ブランゲ文庫を素材としたGHQの対日検閲を研究。	『大衆紙の源流——明治期小新聞の研究』（世界思想社，2002）／『日本大衆文化と日韓関係——韓国若者の日本イメージ』朴順愛と共編著（三元社，2002）／『大阪の錦絵新聞』（三元社，1995）		大阪市立大学 大学院文学研究科	教授
107	常光徹／ TSUNEMITSU Toru	民俗学	口承文芸および俗信の民俗学的研究。	『学校の怪談——口承文芸の展開と諸相』（ミネルヴァ書房，1993）／『学校の怪談——口承文芸の研究Ⅰ——』（角川書店，2002）／『伝説と俗信の世界——口承文芸の研究Ⅱ——』（角川書店，2002）／『口頭伝承——トナエ・ウタ・コトワザ——の世界』（三弥井書店，2003）		国立歴史民俗博物館	教授
108	鳥越皓之／ TORIGOE Hiroyuki	社会学／民俗学	農村社会学，環境社会学	編著『試みとしての環境民俗学』（雄山閣，1994）／編著『景観の創造』（昭和堂，1999）／『花をたずねて吉野山』（集英社，2003），／『環境社会学』（東大出版会，2004）		早稲田大学	教授
109	内藤正敏／ NAITO Masatoshi	民俗学	東北地方の民俗・信仰を精力的に撮影。東北と江戸・東京、自然と都市、王権と民衆、科学と宗教といった異質のテーマを重層的に交叉させる論考を発表している。	『修験道の精神宇宙：出羽三山のマンダラ思想』（青弓社，1991）／『江戸・王権のコスモロジー』（法政大学出版局，2007）／『出羽三山：内藤正敏写真集』（新人物往来社，1980）		東北芸術工科大学 大学院	教授
110	中川隆／ NAKAGAWA Takashi	音楽学		『国立民族学博物館における音響データベース』『情報処理学会研究報告 [音楽情報科学]』93（50）（社団法人情報処理学会，1993）		元国立民族学博物館	
111	中西僚太郎／ NAKANISHI Ryotaro	人文地理学／歴史地理学	人文地理・歴史地理学。鳥瞰図を使った名所の表現についての地理学的な考察がある。	『近代日本の視覚的経験 絵地図と古写真の世界』（ナカニシヤ出版，2008）		筑波大学 人文社会科学部 研究科	教授
112	中野典子／ NAKANO Noriko	食生活学	食物の物性変化，食事摂取量と献立の研究の他，岐阜県の田楽，田遊びに関する食文化や，大正時代の工場食についての研究などを行う。	中野典子・馬場景子「栄養学からみた女工の食事—愛知県尾西市「鈴鎌毛織工場」の資料から」『ジェンダー研究』2（東海ジェンダー研究所，1999）／中野典子・馬場景子「愛知県三河地方の田楽・田遊びに関する食——モチの分類を中心にして」『椋山女学園大学研究論集 社会科学篇』29（椋山女学園大学，1998）		元椋山女学園大学 生活科学部 管理栄養学科	
113	中野泰子／ NAKAMACHI Yasuko	民俗学／生活文化史	占い，特に辻占に関する流行現象をモノ資料をもとに考察する。辻占菓子，辻占印刷物，菓子道具などを対象としている。	『菓子製法書『意地喜多那誌』を中心とした江戸時代の菓子作り道具』『和菓子』15号（株式会社虎屋虎屋文庫，2008）／「辻占菓子についての一考察——運をひらく・縁をむすぶ——」『和菓子』11号（株式会社虎屋虎屋文庫，2004）／「図像から考えるモノと技術——伏見の煎餅職人の道具と技術から——」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』第1号（神奈川大学 21世紀 COE プログラム 研究推進会議，2004）／「諸職風俗図像と『新撰百工図』」『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』第2号（神奈川大学 21世紀 COE プログラム 研究推進会議，2004）		神奈川大学 日本常民文化研究所	特別研究員
114	中村圭子／ NAKAMURA Keiko	日本美術史	明治期以降の出版物の挿絵・児童出版文化を研究。	『弥生美術館』『日本出版史料 3 制度・実態・人』／『少女雑誌ふろくコレクション』（河出書房新社，2007）		弥生美術館	学芸員

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
115	中村美奈子/ NAKAMURA Minako	メディア情報学/美学/文化人類学/民俗学	運動の質の評価を、モーションキャプチャ計測で行う。これまで、ネイティブダンサーによるウイグル舞踊の基本歩行動作と旋回動作を分析。定量的分析結果とダンサーへの聞き取りから、ウイグル舞踊の動作特性を運動学と民族舞踊学の両視点から検証。	小田邦彦・米力尼沙 満蘇尔との共著「モーションキャプチャを用いた舞踊における運動の質の評価の試み：ウイグル舞踊の基本歩行動作と旋回動作を事例として」『情報処理学会研究報告 人文科学とコンピュータ研究会報告』2008 (47) (社団法人情報処理学会, 2008) / 海賀孝明・小島一成との共著「舞における腰と上肢の動き——バリ舞踊を事例として (特集「巧みな動き」の脚と腕)」『体育の科学』56 (3) (杏林書院, 2006)	中村美奈子ほか3名：シンポジウム「音楽を踊り、踊りを奏でる——舞踊のテキスト研究の試み——」(パネリスト), 東洋音楽学会 東日本支部定例研究会 (於 お茶の水女子大学), 2005年6月11日, お茶の水女子大学比較日本学研究センター主催「国際日本学シンポジウム」セッション3『無形文化財の保存とデジタルアーカイブ：テクニカルセッション』およびセッション4『無形文化財の保存とデジタルアーカイブ：パネルディスカッション』の企画運営および司会進行 2005年7月10日.	お茶の水女子大学 文教育学部 芸術・表現行動学科	准教授
116	奈倉哲三/ NAGURA Tetsuzo	日本近世史	本来は浄土真宗門徒の研究者だが、幕末の「子供遊絵」に見られる民衆の天皇観を考察。	『諷刺眼維新変革』(校倉書房, 2004) / 『絵解き幕末諷刺画と天皇』(柏書房, 2007)		跡見学園女子大学	教授
117	中村興二/ NAKAMURA Koji	日本美術史/ 東洋美術史	東洋 (日本を含む) の説話図を読む	『十六羅漢図像学事始：渡水羅漢図と降龍羅漢図』『研究年報』42 (奈良女子大学, 1998) / 『天皇貴族影について』『國華』1218 (國華社, 1997)		大阪成蹊大学芸術学部 美術・工芸学科	名誉教授
118	西村大志/ NISHIMURA Hiroshi	地域研究/文化人類学/民俗学/社会学	近代化と身体および身体技法, 身体の名づけにみる人種・民族イメージの変遷, 性欲の文化史と社会史, 人体模倣の変遷とその受容についてを研究。	『小学校で椅子に座ること——〈もの〉と〈身体〉からみる日本の近代化——』(日文研叢書 35 (国際日本文化研究センター, 2005) / 『日本の近代と児童の身体：座る姿勢をめぐって』『ソシオロジ』42 (2) (学術雑誌目次速報データベース由来 1997)		広島大学 大学院教育学研究科	専任講師
119	野本寛一/ NOMOTO Kanichi	民俗学	信仰伝承, 環境民俗学,	『生態民俗学序説』(白水社)『神々の風景』(白水社, 1990)		近畿大学 文芸学部	名誉教授
120	ネルソン・スティーブン G./ NELSON, Steven G.	美学/美術史/ 日本史	『順次往生講式』の総合研究, 箏の承譜——楽器, 文献と奏法の研究, 日本伝統音楽を対象とする音楽図像学の総合研究。	『蘇る平安の音』(『越境する雅楽文化』) 分担執筆 (書肆フローラ, 2009) / 『5絃譜新考——主に5絃琵琶の柱制及び調絃について』『東洋音楽研究』50 (東洋音楽学会, 1984)		法政大学 文学部 日本文学科	教授
121	紀子・ブランドル/ Noriko BRANDL	幕末期の風刺画研究	幕末期の風刺画研究	『国芳の諷刺錦絵への一考察』、『諷刺画研究』49号, 2005 / 『国芳末期の諷刺錦絵』、『諷刺画研究』51号, 2006		ウィーン大学 東アジア研究所	研究員
122	朴亨國/PARK Hyounggook	美学/美術史	アジアにおける盧舎那・毘盧遮那・大日の図像学的研究, 日・韓国に受容された金剛界大日如来像の図像についての研究, 密教五仏の成立と展開に関する研究, 観音菩薩像の成立と展開の研究, 八大菩薩の成立と伝播に関する研究。	『大阪金剛寺金堂の金剛界大日・不動・降三世の三尊形式に関する一考察——中国四川省盤陀寺石窟の大日三尊像の紹介を兼ねて』『仏教芸術』252 (毎日新聞社, 2000) / 『韓国の毘盧遮那仏の初期図像とその展開』『密教図像』17 (密教図像学会 法蔵館 (発売), 1998)		武蔵野美術大学 大学院造形研究科	教授
123	橋爪伸子/ HASHIZUME Nobuko	食生活学	日本における朝鮮菓子の伝来と受容, また近世料理書の研究を行う。	『近世から近代にいたる餡の変容：内国勸業博覧会を中心に』『香蘭女子短期大学研究紀要』50 (香蘭女子短期大学, 2007) / 『明治期における京都の菓子と内国勸業博覧会』『民俗と風俗』19 (日本民俗史学会中部支部, 2009)		香蘭女子短期大学 食物栄養学科	准教授
124	橋本澄子/ HASHIMOTO Sumiko	風俗/服飾文化	日本の髪型と髪飾りや着物の衣装模様について蓄積がある。	『日本の髪型と髪飾りの歴史』源流社 1998 / 『江戸時代の髪飾り』『月刊文化財』(244) 1984 第一法規 / 『洛中洛外図による——江戸初期——洛の衣装模様』源流社 2004		東京国立博物館	名誉館員
125	橋本直子/ HASHIMOTO Naoko	歴史地理学	村絵図や川絵図を歴史資料として活用し, 文献資料と合わせ景観復元を行う。	『耕地開墾と景観の自然環境学』(古今書院, 2010)		葛飾区郷土と天文の博物館	学芸員
126	橋本裕之/ HASHIMOTO Hiroyuki	文化人類学/民俗学/演劇学	古代・中世芸能の精神史的研究, 民俗学・民俗芸能研究の思想史的研究, 民俗芸能・大衆芸能の身体技法に関する民俗誌的研究, 民俗芸能の社会的基礎に関する民俗誌的研究, 博物館の表象と実践に関する民俗誌的研究, 第6はマッシュル諸島の芸能に関する歴史人類学的研究を行う。	『王の舞の民俗学的研究』(ひつじ書房, 1997) / 『演技の精神史：中世芸能の言説と身体』(岩波書店, 2003) / 『特別寄稿 神を降ろす方法——統・声を伴う王の舞』『國文學』51 (2) (學燈社, 2006)		盛岡大学 文学部 日本文学科	教授

	研究者名／英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
127	八村広三郎／ HACHIMURA Kouzaburo	知能情報学／ 画像情報学	画像データの効率的検索ができるよう研究するほか、人間の身体運動のデータベース化を目標に、主に舞踊などの身体動作のデジタルアーカイブ化と解析をおこなう。	「モーションキャプチャによる舞踊のデジタルアーカイブ（特別セッション1）Digital Archiving of Dancing by Using Motion Capture」『IPSJ SIG Notes. CVIM』2007（1）（社団法人情報処理学会，2007）		立命館大学 総合理工学院・情報理工学部 メディア情報学科	教授
128	服部比呂美／ HATTORI Hiromi	民俗学	民俗行事と子供集団，技術伝承	「『七夕馬』の技術伝承」『無形文化遺産研究報告』1（東京文化財研究所，2007）／「庄内地方における雛祭りの飾り物——雛菓子と押絵雛菓子」『無形文化遺産研究報告』2（東京文化財研究所，2008）		東京文化財研究所 無形文化遺産部	客員研究員
129	馬場まみ／ BANBA Mami	服装史／染織史	日本服装史，小袖，文様の研究。日本染織史，染織。	「近世における遊女観の変化——服飾に関する記述から」『風俗史学』39（日本風俗史学会，2009）／「紋付拜領小袖に関する一考察——川島織物文化館所蔵「団扇形花鳥模様小袖」を中心に」『日本服飾学会誌』17（大阪薫英女子短期大学松本敏子研究室，1998）		華頂短期大学	助教授
130	原田敬一／ HARADA Keichi	日本近代史	近代軍事史，日清日露戦争期における兵士の身体的調律に関する問題を研究。戦争を描いた明治の浮世絵版画に関する論考もある。	「幕末・維新を考える」（仏教大学通信学部，2000）／『国民軍の神話』（吉川弘文館，2001）		仏教大学	教授
131	原田信男／ HARADA Nobuo	日本生活文化史／日本文化論／日本中世村落史	関東平野の村落景観の研究から出発したが、現在では研究対象が広がり、食生活史も大きなテーマにして、食に関する観念や習慣、調理法や保存法を調査する。それらの問題には、地域と歴史の問題が凝縮されていると考え、農や食に見られる先人の知恵と努力の実態を、歴史的に明らかにしていこうとしている。	『江戸の料理史』（中公新書，1989）／『歴史のなかの米と肉』（平凡社，1993）／「天明期料理文化の性格——料理本『豆腐百珍』の成立」『芸能史研究』70（芸能史研究会，1980）／「文人・料理・異国（特集 江戸文学と異国情報）」『江戸文学』32（べりかん社，2005）		国士館大学 21世紀アジア学部 21世紀アジア学科	教授
132	ハルトムート O. ローターモンド ／Hartmut O. ROTERMUND	宗教学	宗教学・癩瘡絵研究。	『癩瘡神 江戸時代の病をめぐる民間信仰の研究』（岩波書店，1995）		フランス国立高等研究院	教授
133	久野俊彦／ HISANO Toshihiko	民俗学	絵解き研究，偽書・偽文書研究。	『絵解きと縁起のフォークロア』（森社，2009）		栃木県立栃木翔南高校	教諭
134	姫田忠義／ HIMEDA Tadayoshi	映像人類学	庶民の生活，行為を日本の基層文化とみなし、映像で記録・研究する。民映研は、これまで40年以上の活動から、119本の映画作品と150本余りのビデオ作品を生み出した。	「映像人類学——民間伝承をフィルムに収める——共感の架け橋（特集：映画—文学を再生させるもの）——（問題としての映画）」『国文学 解釈と教材の研究』42（4）（学灯社，1997）／「映像は何をなし得るか——民俗記録の原点（民俗文化財の映像記録）」『月刊文化財』317（第一法規出版，1990）		民族文化映像研究所（民映研）	所長
135	俵木悟／HYOKI Satoru	文化財科学／ 文化人類学／ 民俗学	民俗芸能の上演目的や上演場所の調査研究。	「無形文化遺産の映像記録作成の意義と課題——無形の民俗文化財を中心に（特集 まちづくりにおける地域無形文化遺産）」『地域政策研究』45（地方自治研究機構，2008）／「芸能 身体と社会の結節点としての民俗芸能」（特集 日本民俗学の研究動向（2003-2005））『日本民俗学』247（日本民俗学会，2006）	「映像記録のこれからの課題 有効な保存と活用に向けて」（第8回民俗芸能研究協議会（東京文化財研究所）2005 口頭発表）	東京文化財研究所	主任研究員
136	兵藤裕己／ HYODO Hiromi	日本文学／ 文化人類学／ 民俗学	これまで取り上げたテーマに、浪花節，講談，祭文などがある。パフォーマンスの研究を行う。	「文学と非文字」『伝承文学講座』（三弥井書店，1994）／「語りの場と生成するテクスト——九州の座頭琵琶を中心に——」『課題としての民俗芸能研究』（ひつじ書房，1993）	科研「座頭（首僧）琵琶の語り物伝承についての研究 オール・コンポジション——口頭的構成法を中心に——」1993年度	学習院大学 文学部	教授
137	平林宣和／ HIRABAYASHI Norikazu	美学／美術史 ／各国文学／ 文学論／東洋史	中国伝統演劇の近代化に関する研究，身体をめぐる表象と言説に関する研究。	平林宣和・飯塚容・瀬戸宏・松浦恒雄編『文明戯研究の現在』（東方書店，2009）／「革命現代劇劇と身体技法の混淆——建国から文革前夜までの革命様式をめぐる言説と実践」『教養諸学研究』123（早稲田大学政治経済学部教養諸学研究会，2007）		早稲田大学 政治経済学術院	准教授
138	廣田律子／ HIROTA Ritsuko	文化人類学／ 中国民俗学	中国の民間信仰及び祭祀芸能を研究。除災招福を行う追儺行事に重点を置き、日本の追儺行事との比較研究も試みる。	『中国漢民族の仮面劇』（木耳社，1997）／『鬼の来た道』（玉川大学出版部，1997）／「モーションキャプチャによる芸能の定量比較研究」『神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究成果報告書 身体技法・感性・民具の資料化と体系化』（神奈川大学「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議，2008）		神奈川大学 経営学部	教授
139	福田アジオ／ FUKUTA Ajo	民俗学／村落社会史	民俗学研究資料としての図像資料の研究	「村落景観の民俗的意味——東西日本論序説——」（『国立歴史民俗博物館研究報告』50集，1993）／「図像資料としての素人絵」（『年報人類文化研究のための非文字資料の体系化』2，2004）／「図像資料と民俗学」（『年報非文字資料研究』5号，2009）		神奈川大学 大学院歴史民俗資料学研究所	教授
140	福田博美／ FUKUDA Hiromi	日本服飾史／ 日本民俗服飾	浮世絵を主要史料として江戸時代の服飾文化を研究する。日本のお守り（守袋・背守り）を通して人生儀礼・地域信仰と服装との関連を捉える。	「初代歌川豊国の美人画に見る服飾描写」『文化女子大学紀要 服装学・造形学研究』32（文化女子大学，2001）／「浮世絵に見る帯留の形成に関する一考察」『文化女子大学紀要 服装学・生活造形学研究』28（文化女子大学，1997）		文化女子大学 服装学部 服装社会学科	准教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
141	福原敏男/ FUKUHARA Toshio	日本民俗学	祭礼研究を従来のフィールドワークから解明するとともに、祭礼絵図などの画像資料を用いて研究している。	木下直之編『鬼がゆく 江戸の華神田祭』(平凡社, 2009)、『祭礼文化史の研究』(法政大学出版局, 1995)		武蔵大学	教授
142	藤澤茜/ FUJISAWA Akane	日本美術史	歌川派の浮世絵版画研究。役者絵を中心に研究。	『浮世絵にみる年中行事と信仰』『学習院大学研究年報』51, 2004/『歌川派の浮世絵と江戸出版界』(勉誠出版, 2001)		学習院大学	非常勤講師
143	藤田隆則/ FUJITA Takanori	美学/美術史/日本文学/文化人類学/民俗学	能における音の演劇的はたらき、能の謡の作詞作曲(節付)規範——世阿弥音曲伝書の読み直し能を中心とする音楽、芸能と儀礼の伝承様式を研究する。	『能の多人数合唱』(ひつじ書房, 2000)、『歴史史料としての口頭伝承(録音資料)——京観世の強吟(特集 音からみる芸能史)』『芸能史研究』187(芸能史研究会, 2009)、『音楽・舞踊からみた日本人の動作のテンポ(運動のテンポ(特集))』『体育の科学』45(1)(杏林書院, 1995)、『同音という指標——中世芸能のウタイとコトバ(シンポジウム ウタとカタリー比較歌謡研究の現場から)』『口承文藝研究』33(日本口承文藝学会, 2010)		京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター	准教授
144	古田真一/ FURUTA Shinichi	美学/美術史/東洋史	中国絵画研究, 中国の墓葬壁画に関する研究, 中国絵画における女性表現, 中国における現代美術の動向, 中国の服飾に関する研究。	『六朝絵画に関する一考察: 司馬金龍墓出土の漆画屏風をめぐって』『美術』42(4)(美学会, 1992)、『中国仕女図に見る官能表現への挑戦(特集 挑戦する美術)——(日本・中国)』『美術フォーラム 21』10(美術フォーラム 21 刊行会, 2004)		帝塚山学院大学 文学部 現代コミュニケーション学	教授
145	古屋貴子/ FURUYA Takako	美術教育学	教育掛図, 明治期の物産錦絵について研究している。	『明治初期における視覚教育メディア政策の思想的背景に関する考察』『東京大学大学院教育学研究科紀要』46(2007)、『明治初期の視覚教育メディアに関する考察: 教育史における文部省発行教育用絵図の位置づけをめぐって』『生涯学習・社会教育学研究』31(2006)		東京大学大学院	博士後期課程
146	分藤大翼/ BUNDOU Daisuke	地域研究/文化人類学	アフリカ地域社会における映像メディア環境の開発。先住民運動, 応用映像人類学, 映像メディア, 開発, カメルーン映画, ポスト狩猟採集社会の文化変容。	『文化研究における映像の活用法: 映像人類学の近年の展開について情報リテラシーと文化研究』(ひつじ書房, 2010)、『カメルーン東部州, バカ・ビグミー社会における音楽の実践と継承』科学研究費補助金[基盤研究(A)]『アフリカの地域社会における無形文化財のありかた』報告書(2008)	『映像メディア環境の開発——応用映像人類学の試み——』日本文化人類学会第43回研究大会 2009	信州大学 全学教育機構	准教授
147	ベシヤール=エ リク=エリカ/ PESCHARD- ERLIH Erika	日本仏教絵画/宗教学	地獄絵・六道絵を専門とし、アジアとヨーロッパ画像資料を研究する。	『王朝文化と地獄の絵——宗教の影』『日本美術全集第8巻』(講談社, 1990)、『鎌倉時代における地獄絵の図像パターンの展開』『秋山光和博士古稀記念美術史論文集』(便利堂, 1991)、『Visages dans l'art japonais 共同研究 描かれた人間——ユーラシアにおける人物表現の承譜(第2部)』『共立女子大学総合文化研究所紀要』12(共立女子大学総合文化研究所運営委員会, 2006)、『聖衆来迎寺所蔵の六道絵の地獄絵について』『共立国際文化』17(共立女子学園共立女子大学国際文化学部, 2000)		共立女子大学 国際文化学部 国際文化学科	准教授
148	星野絃/ HOSHINO Hiroshi	民俗学/民俗芸能	無形文化遺産の保存研究	『世界遺産時代の村の踊り——無形の文化財を伝え遺す』(雄山閣, 2007)、『村の伝統芸能が危ない』(岩田書院, 2009)		東京文化財研究所 無形文化遺産部	客員研究員
149	前林清和/ MAEBAYASHI Kiyokazu	開発教育学/ボランティア論/心身関係論	人間の心身の関係についての心理学的, 哲学的探求を続けており, 日本における心身関係論の業績がある。また, ボランティアの実践研究とその哲学的考察を人間の心身という立場から研究している。	『わが国の伝統的身体運動文化における心と身体——近世弓術を通して』『身体運動文化研究』7(1)(身体運動文化研究会, 2000) 武道の伝統的トレーニング法と新しい知のあり方(特集 身体訓練法——伝統と革新)『体育の科学』46(3)(杏林書院, 1996)		神戸学院大学	教授
150	増野恵子/ MASHINO Keiko	日本近代美術史	石版画の研究, 主に皇室関係者の図像について研究している。	『日本に於ける石版画受容の諸問題』『近代日本版画の諸相』(町田市立国際版画美術館編, 1998)		早稲田大学 文学部	非常勤講師
151	増川宏一/ MASUKAWA Kouichi	文化史	将棋・囲碁・賭博といった盤上遊戯の開拓的研究を行った。	『賭博の日本史』(平凡社, 1989)、『合せもの』(法政大学出版局, 2000)、『碁』(法政大学出版局, 1987)		遊戯史学会	会長
152	増田昭子/ MASUDA Shoko	日本民俗学/食文化	日本人の生活や信仰に関わる, 稗・粟などの雑穀を研究。稲と差別された一方で, 聖なる供物でもあった事例を広い地域にわたり考察し, 様々な視点から雑穀文化を位置づけ, その意味を問う。	『雑穀の社会史』(吉川弘文館, 2001)、『雑穀を旅する——スローフードの原点(歴史文化ライブラリー)』(吉川弘文館, 2007)、『粟と稗の食文化』(三弥井書店, 1990)、『神縄・八重山の五穀』『民具マンスリー』33(6)(神奈川大学, 2000)		立教大学 文学部	非常勤講師
153	増田美子/ MASUDA Yoshiko	生活科学一般/文化人類学/民俗学	顔隠し, 被衣, 角隠し, ヴェールなど女性のかぶりものからみた文化を世界の事例をもとに比較する。日本を対象地域として, 葬送儀礼とその装いの歴史から日本文化を明らかにしようとする研究がある。また, 埴輪・位色・色目など日本古代服飾史も研究する。	『古代服飾の研究: 縄文から奈良時代』(源流社, 1995)、『日本喪服史 古代編——葬送儀礼と装い』(源流社, 2002)、『日本衣服史』(吉川弘文館, 2010)、『日本女性の顔隠しと被衣の意味——古代・中世を中心に』『風俗史学』38(日本風俗史学会, 2009)、『和様の成立過程: 唐衣裳装束を中心に』『国際服飾学会誌=Journal of the International Association of Costume』28(国際服飾学会, 2005)		学習院女子大学 国際文化交流学部 日本文化学科	教授

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
154	松下幸子/ MATSUSHITA Sachiko	近世食文化/ 日本生活文化 史	江戸時代の料理書および食文化の研究.	『江戸料理読本』(柴田書店, 1982)/『祝いの食文化』(東京美術, 1991)/『図説江戸料理事典』(柏書房, 1996)/『料理書から見た江戸時代の魚介類』『食生活研究』21(3)(食生活研究会, 2000)/『料理書から見た江戸時代の野菜類』『食生活研究』22(3)(食生活研究会, 2002)		千葉大学	名誉教授
155	松浪稔/ MATSUNAMI Minoru	スポーツ史/ スポーツ人類 学/スポーツ 文化論/身体 論	近代的身体形成過程について、少年の「身体観」の変遷に関する史的考察、草創期のスポーツ文化—明治期のメディアスポーツ、女子大学生の体力測定結果の分析システムの構築.	『前近代の身体と近代の身体：日本近代における身体像についての一考察』『文芸と思想』68(福岡女子大学, 2004)/『少年世界』にあらわれる身体観(身体的理想像)についての一考察—日露戦争前後に注目して『Phigeneia』3(日本体育大学大学院体育科学研究科スポーツ文化・社会科学系稲垣正浩研究室, 2002)		東海大学 体育学部 スポーツ・レジャー・マネジメント学科	准教授
156	松本品子/ MATSUMOTO Shinako	日本美術史	明治期以降の出版物の挿絵を研究. 学術論文なし.	『挿絵画家英朋 崎崎英朋伝』(スカイデア, 2001)/『岩田専太郎 挿絵画壇の鬼才』(河出書房新社, 2006)		弥生美術館	学芸員
157	丸山慎/ MARUYAMA Shin	音楽学	音楽認知に内在する身体・運動性に関する研究.	『指揮者の身体：協調行為としての指揮者の身振りの分析』『認知科学 = Cognitive studies : bulletin of the Japanese Cognitive Science Society』11(2)(日本認知科学会, 2004)/『身体に根ざした音楽学』の試み『ピアノを弾く身体』をめぐって』『春秋』450(春秋社, 2003)		東京大学国立情報学研究所 情報社会学系	特任研究員
158	水野さや/ MIZUNO Saya	仏教美術史/ 韓国美術史	韓国における仏教美術史.	『阿修羅の図像について—韓国の八部衆における阿修羅像を中心に』『密教図像』19(密教図像学会 法蔵館(発売), 2000)/『中国の八部衆の図像について(1):四川省の八部衆像の報告をかねて』『名古屋大学古川総合研究資料館報告』15(名古屋大学, 1999)	『興福寺の脱活乾漆造八部衆像について—中国・韓国の作例からみた図像的位置—』(第59回美術史学会全国大会2006 口頭発表)	金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科	准教授
159	水本邦彦/ MIZUMOTO Kunihiko	日本近世史	村絵図や都市図・屏風絵を題材にした歴史景観の研究	『絵図と景観の近世』(校倉書房, 2002)/『草山の語る近世』(日本史リブレット)(山川出版, 2003)		長浜バイオ大学	教授
160	南和男/ MINAMI Kazuo	日本近世史	江戸の下層社会の構造分析を出発点にし、幕末維新期の時事的な錦絵の分析で先駆的研究を行った.	『江戸の風刺画』(吉川弘文館, 1997)/『幕末江戸の文化：浮世絵と風刺画』(塙書房, 1998)/『幕末維新の風刺画』(吉川弘文館, 1999)		駒沢大学	名誉教授
161	宮内貴久/ MIYAUCHI Takahisa	日本民俗学	家相学を、図像資料を用いて考察.	『家相の民俗学』(吉川弘文館, 2006)/『風水と家相の歴史』(吉川弘文館, 2009)		お茶の水女子大学	准教授
162	宮崎法子/ MIYAZAKI Noriko	美学/美術史	中国花鳥画の図像学的研究、宋元の仏教美術、明清絵画研究、文人文化における絵画の役割の研究.	『中国絵画と道教—宋時代を中心として(道教美術の可能性)—(道教美術の諸相と展開)』『アジア遊学』133(勉誠出版, 2010)/『狩野派模本から見た中国の仕女図』『泉屋博古館紀要』25(泉屋博古館, 2009)		実践女子大学 文学部 美学美術史学科	教授
163	宮崎まゆみ/ MIYAZAKI Mayumi	音楽学/日本 音楽史	日本音楽史、日本楽器史、筑紫管楽器の歴史	『埴輪に表現された楽器についての調査概報—1- 弾きもの まとめ』『武蔵野音楽大学研究紀要』21(武蔵野音楽大学研究部, 1989)/『能「定家(ていか)」の語(うたい)の音楽的特色—1- 現行観世流大成版「定家」と「井筒」の比較』『武蔵野音楽大学研究紀要』17(武蔵野音楽大学研究部, 1985)		宮崎大学 教育文化学部	教授
164	宮下規久朗/ MIYASHITA Kikuro	イタリアを中心とする西洋美術史/日本近代美術史	カラヴァッジョを主とするイタリア美術を専門とするが、近代日本美術の著作もある.	『カラヴァッジョ 聖性とヴィジョン』(名古屋大学出版会, 2004)/『刺青とモードの美術史 江戸から近代へ』(NHK ブックス, 2008)		神戸大学大学院	准教授
165	宮島新一/ MIYAJIMA Shinichi	日本美術史	雪舟・長澤芦雪などの概説書を書いた後、肖像画研究を手がける.	『宮廷画壇史の研究』(至文堂, 1996)/『肖像画の視線 源頼朝像から浮世絵まで』(吉川弘文館, 2010)/		山形大学 教職大学院	教授
166	宮田繁幸/ MIYATA Shigeyuki	民俗芸能		『無形文化遺産保護における国際的枠組み形成』『無形文化遺産研究報告』1(東京文化財研究所 2007)/『無形文化遺産保護における国際的枠組み形成』2『無形文化遺産研究報告』2(東京文化財研究所 2008)		東京文化財研究所 無形文化遺産部	部長
167	宮地正人/ MIYACHI Masato	日本近代史	幕末維新期の政治史研究. 画像史料としての浮世絵版画(錦絵・摺物(かわら版))に注目. 各地の風説書・日記などの古記録に掲載される錦絵や摺物を調査した.	『幕末維新期摺物(いわゆるかわら版)総合編年目録作成のための基礎的研究』(文部省科学研究費補助金研究成果報告書, 1995-1997)/『幕末維新と情報』(吉川弘文館, 2001)/『幕末維新風雲通信』(東京大学出版会, 1978)		元国立歴史民俗博物館	
168	宮本大人/ MIYAMOTO Hirohito	表象文化論/ 日本漫画史	表象文化論の立場から、日本マンガ史を実証的に研究している.	『マンガの居場所』(共著, NTT 出版, 2003)		明治大学	准教授
169	宮本八恵子/ MIYAMOTO Yaeko	被服	所沢飛白の再現を行う研究を中心に、子供の衣類や日常着、下着、履物などを考察. 和装時代のよそゆきについての論考もある.	『埼玉県東部低地の田植え衣装』『民具マンスリー』40(3)(神奈川大学, 2007)/『実測図からの展開—民具の情報を表現するための作図の手法』『民具マンスリー』38(4)(神奈川大学, 2005)			

	研究者名/英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
170	村松 英子/ MURAMATSU Hideko	服飾史	日本の服飾史の中で袖、帯、裳にスポットをあて、その変遷の跡を辿る。また、南蛮屏風に見られるポルトガル商人たちの服装も研究。	「南蛮屏風に見られる服飾表現についての一考察」『山野研究紀要』6 (山野美容芸術短期大学, 1998) / 「浮世絵にみられる服飾表現についての一考察」『山野研究紀要』5 (山野美容芸術短期大学, 1997) / 「袖について: 呪術性と装飾性を中心として」『山野研究紀要』3 (山野美容芸術短期大学, 1995)		山野美容芸術短期大学	
171	森下伸也/ MORISHITA Shinya	社会学/ユーモア学	ユーモア、笑いの比較宗教社会学を行う。ユーモアを古代から近代まで歴史的に考察する成果も出している。	『ユーモアの社会学』(世界思想社, 1996) / 「逆説とユーモア (特集 日本人と笑い) —— (社会現象にみる笑い)」『国文学 : 解釈と鑑賞』75 (5) (ぎょうせい, 2010) / 「はじめに笑いありき: 笑い学の歴史・古代篇 I」『笑い学研究』9 (日本笑い学会, 2002)		関西大学 社会学部 社会学専攻	教授
172	矢島新/ YAZIMA Arata	近世宗教美術	近世の宗教美術を専門として、石仏や武者絵馬、有卦絵なども分析している。	『近世宗教美術の世界 内なる仏と浮世の神』(国書刊行会, 2008) / 「有卦絵について」『東京江戸東京博物館研究報告』5 (東京都歴史文化財団, 2000)		跡見学園女子大学	教授
173	山口順子/ YAMAGUCHI Junko	メディア史/ ジャーナリズム史研究	風刺漫画/近代に於ける大衆向け視覚文化を突破口に、ハンセン病差別問題の報道も研究。	「明治前期の新聞雑誌における視覚的要素について」『近代日本版画の諸相』(町田市立国際版画美術館編, 1998) / 「明治前期『滑稽風刺新聞雑誌』のエボック」『新聞・雑誌・出版 叢書現代のメディアとジャーナリズム』(ミネルバ書房, 2005)		フリー	
174	山下和正/ YAMASHITA Kazumasa	建築/古地図	建築家であるが、古地図のコレクターで、コレクションの一部が岐阜県図書館に入っている。	『江戸時代古地図をめぐる』(NTT出版, 1996) / 「地図で読む江戸時代」(柏書房, 1998) / 「道中図の世界 (10・最終回) 西洋版日本道中図」『地図ニュース』(378) (日本地図センター, 2004)		山下和正建築研究所	建築家
175	山田慎也/ YAMADA Shinya	日本民俗学	葬送や葬式の研究を行うが、ムサカリ絵馬・浮世絵版画の一ジャンルである役者死絵・遺影などの画像資料の研究も行っている。	『現代日本の死と葬儀』(東京大学出版会, 2007) / 『死絵』(国立歴史民俗博物館, 2010)		国立歴史民俗博物館	准教授
176	山田奈々子/ YAMADA Nanako	日本美術史	挿絵、とくに明治期の木版口絵の研究を行う。	『口絵名作物語集』(文生書院, 2006) / 『美人口絵歳時記』(文生書院, 2008)		シカゴ大学 東アジア研究センター	客員研究員
177	山崎圭子/ YAMAHANA Keiko	調理学/調理科学	北海道内の食文化研究について蓄積がある。サケ、マス、イズシ、ジャがいも料理、食生活用具について調査を行った。	『北海道における食生活用具の変遷: 道史を中心に』『北海道女子大学短期大学部研究紀要』34 (北翔大学, 1998) / 「家計調査報告の食品支出金額から見た北海道の食文化変容について」『家庭科教育』72 (8) (家政教育社, 1998)		北海道浅井学園大学短大部	名誉教授
178	山本聡美/ YAMAMOTO Satomi	美術史/日本中世絵画史	中世六道絵・九相図・十王図の研究をテーマに研究する。後白河院政期の美術、特に病草紙や絵師常磐光長、中世大分の絵画史についても調査を行う。	山本聡美・西山美香編『九相図資料集成——死体の美術と文学——』(岩田書院, 2009) / 「正法念処経」経意絵としての「地獄草紙」『餓鬼草紙』『病草紙』『金城日本語日本文化』(85) (金城学院大学日本語日本文化学会, 2009) / 「高野山麓天野大念仏講旧蔵「六道絵」の制作背景——南都所縁の十一面観音菩薩図像を中心として」『和歌山県立博物館研究紀要』(11) (和歌山県立博物館, 2005)		名古屋大学	准教授
179	山本陽子/ YAMAMOTO Yoko	中世東洋美術史/中世日本美術史/説話画	絵巻物を絵画資料に、そこに描かれた神や天皇の表現、霊地と伝説の表現を分析した。また、近年は物語絵画に現れる、武士や貴人の特徴的な描き方の由来、影響、比較を探究する。	『絵巻における神と天皇の表現——見えぬように描く』(中央公論美術出版, 2006) / 『『平家物語』絵本・絵巻の挿絵について——明星大学図書館所蔵本を中心に——附 林原本・明暦版本・真田本・明星本場面対照表』『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』17 (明星大学青梅校, 2009)		明星大学 造形芸術学部	教授
180	湯浅淑子/ YUASA Toshiko	日本近世史	拳遊びの浮世絵、幕末維新期の時事風刺挿絵の研究	『すぐわかる江戸の浮世絵』(共著, 東京美術, 2008)		たばこと塩の博物館	学芸員
181	伊芝恵/ YOON Jihye	比較文化	江戸時代の美術作品を中心に日韓比較文化論を展開。特に朝鮮通信使の研究。	『近世日本の絵画作品における朝鮮通信使の描き方: 楽隊とその衣裳に注目して』『美學』59 (1) (美学会, 2008) / 「浮世絵に描かれた朝鮮通信使」『藝術研究』17 (広島芸術学会, 2004)		西南学院大学	准教授
182	湯本豪一/ YUMOTO Goichi	日本近世史	妖怪・怪異現象を文献・図像資料をもとに研究。風刺画や挿絵から世相を考察。	『明治もののはじまり事典 絵で見る歴史シリーズ』(柏書房, 2005)		川崎市民ミュージアム	学芸員
183	横川公子/ YOKOGAWA Kimiko	服飾美学/日本服飾史/生活美学	近世町人の服飾観をテーマとした研究においては、井原西鶴の年代記的作品を中心として、登場人物の服飾を調査再現し、背景になっている世界観を探究した。また、儀礼環境における服飾やモノを対象として、伝統儀礼の変容を調査研究している。随筆家・料理研究家の大村しげが生活現場に遺したほぼ全遺品の情報化とそこから読み取れる生活文化の意味を考察もしている。	『服飾表現の位相』(昭和堂, 1992) / 「近代洋装の受容——幕末から明治初年の展開」『服飾美学』15 (服飾美学会, 1986)	「東アジアにおける洋装化および洋裁文化の形成と葛藤」(MKCR国際シンポジウム「東アジア三国における文化交流」(武庫川女子大学学術研究交流センター) 2008 口頭発表) / 「衣服文様に関する比較文化——水玉文様——」(第17回繊維連合研究発表会(奈良女子大学) 2008 口頭発表)	武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科	教授

	研究者名／英語・ローマ字	研究分野	非文字資料研究の内容	主要業績	口頭報告など	所属機関名	職称
184	吉見俊哉／ YOSHIMI Shunya	社会学／文化社会学	明治期の博覧会の研究からメディア研究へ移り、カルチュラルスタディーズを日本に紹介。画像資料からマスカルチャーを読み解く。近代における「身体性の変化」に関する考察もある。	『博覧会の政治学』（中央公論社、1992）／『運動会と日本近代』（青弓社、1999）／『カルチュラル・スタディーズ』（講談社、2001）／『戦争の表象』（東京大学出版会、2006）		東京大学情報学環	教授
185	吉村和真／ YOSHIMURA Kazuma	日本漫画史／思想史	近代風刺画の朝鮮・中国に対する蔑視観、風刺画にみる日本人の「顔」の描き方など、近代以降の風刺漫画・子ども向け漫画の表象を一次資料に思想的考察を行っている。	ジャクリーヌ・ベルント編『マン美研 マンガの美／学的な次元への接近』（醍醐書房、2002）／福間良明との共編『「はだしのゲン」がいた風景 マンガ・戦争・記憶』（粹出版社、2006）		京都精華大学 マンガ学科	准教授
186	吉原健一郎／ YOSHIWARA Kenichiro	日本近世史	西山松之助門下で江戸文化研究を行う。浮世絵版画に関する論考も多い。	『江戸の情報屋』（NHK ブックス、1978）／『落書というメディア』（教育出版、1999）		成城大学	名誉教授
187	米倉迪夫／ YONEKURA Michio	日本中世美術史	源頼朝像の像主が足利直義であるとの説を提唱。	『源頼朝像 沈黙の肖像画（平凡社ライブラリ）』（平凡社、2006）／『絵は語る（4）源頼朝像 沈黙の肖像画』（平凡社、1995）		上智大学	教授
188	四方田犬彦／ YOMOTA Inuhiko	映画史／映像学	映画研究・マンガ研究など視覚文化に関する研究を行う。著書多数。	『漫画原論』（筑摩書房、1994）		明治学院大学	教授
189	渡辺明日香／ WATANABE Asuka	生活科学／ファッション	ストリートファッションの時代系列分析、流行の波及過程の変容、ストリートファッション画像データベースの構築とトレンド検知方法の研究、インターネット上のファッション画像収集システムの開発、少女・ファッション・メディアの研究。	『ストリートファッションの時代—今、ファッションはストリートから生まれる』（明現社、2005）／「マンガとファッションの相関性—少女マンガにみる描かれたファッションの考察」『共立女子短期大学生活科学科紀要』51（共立女子短期大学生活科学科、2008）／『流行予想色と婦人服装色との関連性』『日本家政学会誌』58（11）（社団法人日本家政学会、2007）		共立女子短期大学 生活科学科	専任講師